

岡 広 監 第 6 号
平成 2 8 年 7 月 1 日

岡山県後期高齢者医療広域連合長 黒 田 晋 様

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員 白 神 利 行
岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員 山 崎 親 男

平成 2 7 年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算審査意見
について

地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 2 9 2 条において準用する同法第 2 3 3 条
第 2 項の規定により審査に付された平成 2 7 年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計
歳入歳出決算及び証書類その他関係書類を審査した結果、別紙のとおりその意見を提出
する。

平成 27 年度

岡山県後期高齢者医療広域連合

一般会計 歳入歳出決算審査意見書
特別会計

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員

目 次

各会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象	1
第2 審査の期日	1
第3 審査の方法	1
第4 審査の結果	1
1 決算の総括	2
(1) 決算規模	2
(2) 決算収支	3
2 一般会計	4
(1) 歳入	5
(2) 歳出	8
3 後期高齢者医療特別会計	10
(1) 歳入	11
(2) 歳出	15
4 財産に関する調書	18
5 むすび	19

(注) 文中の比率、各表の比率及び数値は、原則として表示の1桁下位で四捨五入した。
このため計数が一致しない場合がある。

平成27年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

平成27年度岡山県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算

平成27年度岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
(決算附属書類)

平成27年度各会計歳入歳出決算事項別明細書

平成27年度各会計実質収支に関する調書

平成27年度財産に関する調書

第2 審査の期日

平成28年7月1日

第3 審査の方法

審査に当たっては、平成27年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算書及び証書類並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書が関係法令に適合して調製されているかどうかを確認し、これらの計数を会計管理者所管の関係諸帳簿及び証拠書類と照合することにより実施した。

また、予算の執行状況等については、これらの資料のほか、例月出納検査及び定期監査の結果も考慮に入れながら、必要に応じ関係職員からの説明を聴取し、その適否について審査した。

第4 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認めた。

また、予算の執行については、要望及び検討事項はあるが、おおむね適正であると認めた。

なお、各会計の決算状況及びこれらに対する審査意見は、次のとおりである。

1 決算の総括

(1) 決算規模

一般会計及び特別会計の決算額は

歳入	2,630億8,159万2,689円	(予算現額に対する収入歩合	100.01%)
一般会計	6,341万2,513円	(同)	99.46%)
特別会計	2,630億1,818万176円	(同)	100.01%)
歳出	2,630億3,055万4,052円	(予算現額に対する執行率	99.99%)
一般会計	6,230万9,998円	(同)	97.73%)
特別会計	2,629億6,824万4,054円	(同)	99.99%)
歳入歳出差引額	5,103万8,637円		
一般会計	110万2,515円		
特別会計	4,993万6,122円		

となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

決算規模の推移

年度	歳入		歳出	
	決算額	対前年度増、減(△)額	決算額	対前年度増、減(△)額
25	249,079,793,116円	10,873,647,106円	248,976,105,820円	10,861,971,861円
26	257,889,879,852円	8,810,086,736円	257,793,238,223円	8,817,132,403円
27	263,081,592,689円	5,191,712,837円	263,030,554,052円	5,237,315,829円

(2) 決算収支

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、一般会計及び特別会計の総額では、歳入歳出差引額 5,103 万 8,637 円の余剰金が生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

また、単年度収支では 4,560 万 2,992 円の赤字となっている。

決算収支の推移

区 分		27年度	26年度	25年度
歳入総額 A		円	円	円
	一般会計	63,412,513	61,447,370	62,574,540
	特別会計	263,018,180,176	257,828,432,482	249,017,218,576
	計	263,081,592,689	257,889,879,852	249,079,793,116
歳出総額 B	一般会計	62,309,998	59,882,704	61,192,605
	特別会計	262,968,244,054	257,733,355,519	248,914,913,215
	計	263,030,554,052	257,793,238,223	248,976,105,820
歳入歳出差引額 (A-B) C	一般会計	1,102,515	1,564,666	1,381,935
	特別会計	49,936,122	95,076,963	102,305,361
	計	51,038,637	96,641,629	103,687,296
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	一般会計	0	0	0
	特別会計	0	0	0
	計	0	0	0
実質収支 (C-D) E	一般会計	1,102,515	1,564,666	1,381,935
	特別会計	49,936,122	95,076,963	102,305,361
	計	51,038,637	96,641,629	103,687,296
単年度収支 E-前年度のE	一般会計	Δ462,151	182,731	Δ492,268
	特別会計	Δ45,140,841	Δ7,228,398	12,167,513
	計	Δ45,602,992	Δ7,045,667	11,675,245

2 一般会計

一般会計の決算額は、歳入 6,341 万 2,513 円（予算現額に対する収入歩合 99.46%）、歳出 6,230 万 9,998 円（予算現額に対する執行率 97.73%）、歳入歳出差引額 110 万 2,515 円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

一般会計決算規模の推移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対前年度 増、減(△)額	決 算 額	対前年度 増、減(△)額
26	61,447,370円	△1,127,170円	59,882,704円	△1,309,901円
27	63,412,513円	1,965,143円	62,309,998円	2,427,294円

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額 110 万 2,515 円の余剰金を生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

また、単年度収支では 46 万 2,151 円の赤字となっている。

一般会計決算収支の推移

区 分	27年度	26年度
歳入総額 A	63,412,513円	61,447,370円
歳出総額 B	62,309,998円	59,882,704円
歳入歳出差引額 (A-B) C	1,102,515円	1,564,666円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	0円	0円
実質収支 (C-D) E	1,102,515円	1,564,666円
単年度収支 E-前年度のE	△462,151円	182,731円

(1) 歳 入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

一般会計歳入決算状況

区 分		27年度 A	26年度 B	増、減(△) A-B
予 算 現 額		63,760,000円	61,442,000円	2,318,000円
調 定 額		63,412,513円	61,447,370円	1,965,143円
収 入 済 額	金 額	63,412,513円	61,447,370円	1,965,143円
	予算現額に対する 比率(収入歩合)	99.46%	100.01%	△0.55%
	調定額に対する 比率(収納率)	100.00%	100.00%	0.00%
収 入 未 済 額		0円	0円	0円
不 納 欠 損 額		0円	0円	0円

予算現額 6,376 万円に対し、収入済額は 6,341 万 2,513 円で、前年度に比べ 196 万 5,143 円の増加となっている。

予算現額に対する収入歩合は 99.46%で、前年度に比べ 0.55 ポイント減少している。

調定額に対する収納率は 100.00%で、前年度と同率となっている。

イ 財源別収入状況

財源別収入状況は、次表のとおりである。

一般会計一般財源及び特定財源年度別比較表

財源別	区分	27年度		26年度		増、減(△)	
		決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	金 額	構 成 比
一 般 財 源	分担金及び 負担金	円 60,875,000	% 96.00	円 60,036,000	% 97.70	円 839,000	% △ 1.70
	繰 越 金	1,564,666	2.47	1,381,935	2.25	182,731	0.22
	諸 収 入	7,041	0.01	5,463	0.01	1,578	0.00
	繰 入 金	941,834	1.48	0	0.00	941,834	1.48
	小 計	63,388,541	99.96	61,423,398	99.96	1,965,143	0.00
特 定 財 源	国庫支出金	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	県支出金	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	財産収入	23,972	0.04	23,972	0.04	0	0.00
	小 計	23,972	0.04	23,972	0.04	0	0.00
合 計		63,412,513	100.00	61,447,370	100.00	1,965,143	0.00

一般財源は 6,338 万 8,541 円で、前年度に比べ 196 万 5,143 円の増加となっている。歳入総額に占める割合は 99.96%で、前年度と同率となっている。

特定財源は 2 万 3,972 円で、前年度と同額となっており、歳入総額に占める割合は 0.04%で、前年度と同率となっている。

ウ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。

第1款 分担金及び負担金

予算現額 6,087 万 5,000 円に対し、収入済額は 6,087 万 5,000 円で、同額となっている。

前年度に比べ事務費負担金が 83 万 9,000 円増加している。

項 別 状 況

項	27年度			26年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	A - B
	円	円	%	円	円	%	円
負担金	60,875,000	60,875,000	100.00	60,036,000	60,036,000	100.00	839,000

第2款 財産収入

予算現額 2 万 3,000 円に対し、収入済額は 2 万 3,972 円で、972 円の増加となっている。

財政調整基金利子は前年度と同額となっている。

項 別 状 況

項	27年度			26年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	A - B
	円	円	%	円	円	%	円
財産運用収入	23,000	23,972	104.23	23,000	23,972	104.23	0

第3款 繰越金

予算現額 156 万 4,000 円に対し、収入済額は 156 万 4,666 円で、666 円の増加となっている。

前年度に比べ前年度繰越金が 18 万 2,731 円増加している。

項 別 状 況

項	27年度			26年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	A - B
	円	円	%	円	円	%	円
繰越金	1,564,000	1,564,666	100.04	1,381,000	1,381,935	100.07	182,731

第4款 諸収入

予算現額 6,000 円に対し、収入済額は 7,041 円で、1,041 円の増加となっている。
 預金利子の収入済額は 1,571 円で、前年度に比べ 18 円の増加となっている。
 雑入の収入済額は 5,470 円で、前年度に比べ 1,560 円の増加となっている。

項別状況

項	27年度			26年度			増、減(△) A - B
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	
	円	円	%	円	円	%	円
預金利子	1,000	1,571	157.10	1,000	1,553	155.30	18
雑入	5,000	5,470	109.40	1,000	3,910	391.00	1,560
計	6,000	7,041	117.35	2,000	5,463	273.15	1,578

第5款 繰入金

予算現額 129 万 2,000 円に対し、収入済額は 94 万 1,834 円で、35 万 166 円の減少となっている。

前年度に比べ財政調整基金繰入金が 94 万 1,834 円皆増している。

項別状況

項	27年度			26年度			増、減(△) A - B
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	
	円	円	%	円	円	%	円
基金繰入金	1,292,000	941,834	72.90	—	—	—	941,834

(2) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

一 般 会 計 歳 出 決 算 状 況

区 分		27年度 A	26年度 B	増、減(△) A-B
予 算 現 額		63,760,000円	61,442,000円	2,318,000円
支 出 済 額		62,309,998円	59,882,704円	2,427,294円
執 行 率		97.73%	97.46%	0.27%
翌年度繰越額	継続費逡次繰越	0円	0円	0円
	繰越明許費	0円	0円	0円
	事故繰越し	0円	0円	0円
	計	0円	0円	0円
	予算現額に対する比率	0.00%	0.00%	0.00%
不 用 額		1,450,002円	1,559,296円	△109,294円

予算現額 6,376 万円に対し、支出済額は 6,230 万 9,998 円で、前年度に比べ 242 万 7,294 円の増加となっている。

予算現額に対する執行率は 97.73%となっている。

翌年度繰越額は 0 円である。

また、不用額は 145 万 2 円で、前年度に比べ 10 万 9,294 円の減少となっている。

不用額の主なものは、総務費の需用費、役務費、負担金補助及び交付金等で、経費の縮減などによるものである。

イ 用途別決算状況

歳出決算額を「人件費」及び「物件費その他の経費」に分類すると、人件費は 91 万 2,298 円で、前年度に比べ 9 万 5,168 円の増加となっており、歳出総額に占める割合は 1.46%である。

物件費その他の経費は 6,139 万 7,700 円で、前年度に比べ 233 万 2,126 円の増加となっており、歳出総額に占める割合は 98.54%である。

一 般 会 計 使 途 別 決 算 状 況

年度	人 件 費		物件費その他の経費	
	金 額	構成比	金 額	構成比
26	817,130円	1.36%	59,065,574円	98.64%
27	912,298円	1.46%	61,397,700円	98.54%

ウ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。

第1款 議会費

予算現額 78万 5,000 円に対し、支出済額は 69万 5,657 円で、執行率 88.62%である。
前年度に比べ 6,642 円の増加となっている。

項 別 状 況

項	27年度					26年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額	支出済額 A	執行率	翌年度 繰越額	不用額		
議 会 費	円 785,000	円 695,657	% 88.62	円 0	円 89,343	円 689,015	円 6,642

第2款 総務費

予算現額 6,247万 5,000 円に対し、支出済額は 6,161万 4,341 円で、執行率は 98.62%である。

前年度に比べ 242万 652 円の増加となっている。

項 別 状 況

項	27年度					26年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額	支出済額 A	執行率	翌年度 繰越額	不用額		
総務管理費	円 62,296,000	円 61,499,957	% 98.72	円 0	円 796,043	円 59,128,637	円 2,371,320
選挙費	93,000	90,384	97.19	0	2,616	41,052	49,332
監査委員費	86,000	24,000	27.91	0	62,000	24,000	0
計	62,475,000	61,614,341	98.62	0	860,659	59,193,689	2,420,652
説明	◎主な対前年度増減の状況 (項 総務管理費) (目 一般管理費) 時間外勤務手当の増 6万 9,020円 (3.36倍) 手数料の増 56万 9,703円 (1.05倍) 職員派遣負担金の増 165万 4,217円 (1.06倍) 施設負担金の減 9万 6,696円 (0.99倍) (項 選挙費) (目 連合議会議員選挙費) 通信運搬費の増 5万 6,846円 (8.18倍)						

第3款 予備費

前年度と同様に充当がなく、全額不用となっている。

項 別 状 況

項	27年度					26年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額	支出済額 A	執行率	翌年度 繰越額	不用額		
予 備 費	円 500,000	円 0	% —	円 0	円 500,000	円 0	円 0

3 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入 2,630 億 1,818 万 176 円（予算現額に対する収入歩合 100.01%）、歳出 2,629 億 6,824 万 4,054 円（予算現額に対する執行率 99.99%）、歳入歳出差引額 4,993 万 6,122 円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計決算規模の推移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対前年度 増、減(△)額	決 算 額	対前年度 増、減(△)額
26	257,828,432,482円	8,811,213,906円	257,733,355,519円	8,818,442,304円
27	263,018,180,176円	5,189,747,694円	262,968,244,054円	5,234,888,535円

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額 4,993 万 6,122 円の余剰金を生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

また、単年度収支では 4,514 万 841 円の赤字となっている。

後期高齢者医療特別会計決算収支の推移

区 分	27年度	26年度
歳入総額 A	263,018,180,176円	257,828,432,482円
歳出総額 B	262,968,244,054円	257,733,355,519円
歳入歳出差引額 (A-B) C	49,936,122円	95,076,963円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	0円	0円
実質収支 (C-D) E	49,936,122円	95,076,963円
単年度収支 E-前年度のE	△45,140,841円	△7,228,398円

(1) 歳 入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計歳入決算状況

区 分		27年度 A	26年度 B	増、減(△) A-B
予 算 現 額		263,001,568,000円	257,838,243,000円	5,163,325,000円
調 定 額		263,020,509,816円	257,830,164,233円	5,190,345,583円
収 入 済 額	金 額	263,018,180,176円	257,828,432,482円	5,189,747,694円
	予算現額に対する 比率(収入歩合)	100.01%	100.00%	0.01%
	調定額に対する 比率(収納率)	100.00%	100.00%	0.00%
収 入 未 済 額		2,329,640円	1,731,751円	597,889円
不 納 欠 損 額		0円	0円	0円

予算現額2,630億156万8,000円に対し、収入済額は2,630億1,818万176円で、前年度に比べ51億8,974万7,694円の増加となっている。

予算現額に対する収入歩合は100.01%で、前年度に比べ0.01%増加している。

調定額に対する収納率は100.00%となっているが、諸収入の返納金において232万9,640円の収入未済額が生じ前年度に比べ59万7,889円増加している。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款	予 算 現 額 A	収 入 済 額 B	収入歩合 $\frac{B}{A}$	予算現額に比し 増、減(△) B-A
	円	円	%	円
市 町 村 支 出 金	42,298,760,000	42,317,697,950	100.04	18,937,950
うち保険料等負担金	21,297,283,000	21,316,221,937	100.09	18,938,937
うち療養給付費負担金	20,431,477,000	20,431,476,013	100.00	△987
国 庫 支 出 金	87,866,484,000	87,866,485,736	100.00	1,736
うち療養給付費等負担金	62,865,639,000	62,865,639,473	100.00	473
うち高額医療費負担金	1,009,493,000	1,009,492,787	100.00	△213
県 支 出 金	20,662,955,000	20,662,955,342	100.00	342
うち療養給付費等負担金	19,610,980,000	19,610,980,555	100.00	555
うち高額医療費負担金	1,009,493,000	1,009,492,787	100.00	△213
支 払 基 金 交 付 金	102,581,710,000	102,581,710,000	100.00	0
特 別 高 額 医 療 費 共 同 事 業 交 付 金	83,724,000	83,724,542	100.00	542
財 産 収 入	9,320,000	9,319,243	99.99	△757
繰 入 金	8,956,951,000	8,956,949,949	100.00	△1,051
繰 越 金	95,077,000	95,076,963	100.00	△37
諸 収 入	446,587,000	444,260,451	99.48	△2,326,549
計	263,001,568,000	263,018,180,176	100.01	16,612,176

収入済額は2,630億1,818万176円で、この主なものは市町村支出金、国庫支出金、県支出金、支払基金交付金である。予算現額に対する収入歩合は100.01%で、予算現額に対する増収の主なものは市町村支出金のうち保険料等負担金である。

保険料等負担金の内訳は次表のとおりである。

保険料等負担金内訳の状況

年度	保険料	延滞金	基盤安定分	計
	円	円	円	円
26	16,643,162,751	3,186,697	4,728,856,077	21,375,205,525
27	16,429,309,442	2,569,911	4,884,342,584	21,316,221,937

保険料等負担金は213億1,622万1,937円で、前年度に比べ5,898万3,588円の減少となっている。

保険料収入と被保険者数の状況は次表のとおりである。

保険料収入と被保険者数等の状況

年度	保険料収入 A	年間平均 被保険者数 B	1人当たり 保険料収入 $\frac{A}{B}$
	円	人	円
26	16,643,162,751	265,432	62,702
27	16,429,309,442	268,464	61,197

保険料収入は164億2,930万9,442円で、前年度に比べ2億1,385万3,309円の減少となっている。

年間平均被保険者数は26万8,464人で、前年度に比べ3,032人の増加となっている。

1人当たりの保険料収入は6万1,197円で、前年度に比べ1,505円減少となっている。

保険料等負担金については、市町村が広域連合に納付すべき額を調定しているため調定額に対する収納率は100.00%となっている。保険料については、13、14ページの表のとおり市町村における調定額165億9,406万6,443円に対し、収納額は164億2,809万7,589円となっている。収納率については、現年分が99.46%で、前年度に比べ0.01ポイント、滞納繰越分が37.59%で、前年度に比べ1.01ポイントそれぞれ減少し、合計では98.84%で、前年度に比べ0.02ポイント上昇している。不納欠損額については2,858万7,651円となっている。広域連合の保険料収入と市町村における収納額が異なるのは、広域連合への納付が翌月以降となるため、会計年度のずれにより生じるものである。

なお、収納額の中には還付未済額が2,566万3,345円含まれており、前年度に比べ489万2,345円増加している。引き続き還付事務については、早期に還付が行えるように市町村と連携を図りたい。

保険料の収納率向上は、財政の健全化において極めて重要であり、不納欠損処分は被保険者の不公平感を生み出す要因でもあることから、収納対策実施計画に基づき、市町村と連携を図りながら、積極的かつ効果的な収納対策に取り組まれるよう要望する。

また、諸収入のうち返納金において、一部負担金の負担割合に係る差額請求等に伴う収入未済額が232万9,640円生じている。負担の公平性を確保する観点からも、収入未済額の早期解消に努められたい。

【参考】 各市町村保険料収納状況

市町村名		調定額 A	収納額 B	還付未済額 C	収入未済額 A-(B-C)	収納率 (B-C)/A	不納欠損額
		円	円	円	円	%	円
岡山市	現年分	6,045,265,000	6,014,220,483	9,665,932	40,710,449	99.32	0
	滞納繰越分	79,788,869	26,395,302	87,400	53,480,967	32.97	17,069,527
	合計	6,125,053,869	6,040,615,785	9,753,332	94,191,416	98.46	17,069,527
倉敷市	現年分	3,932,852,700	3,916,749,068	2,302,900	18,406,532	99.53	0
	滞納繰越分	31,593,140	14,919,422	300	16,674,018	47.22	4,403,008
	合計	3,964,445,840	3,931,668,490	2,303,200	35,080,550	99.11	4,403,008
津山市	現年分	802,390,900	798,800,888	1,006,500	4,596,512	99.42	0
	滞納繰越分	7,587,301	3,080,420	0	4,506,881	40.59	1,920,450
	合計	809,978,201	801,881,308	1,006,500	9,103,393	98.87	1,920,450
玉野市	現年分	682,233,700	679,282,900	329,100	3,279,900	99.51	0
	滞納繰越分	6,171,500	1,852,200	100	4,319,400	30.01	0
	合計	688,405,200	681,135,100	329,200	7,599,300	98.89	0
笠岡市	現年分	474,574,500	472,480,150	1,210,500	3,304,850	99.30	0
	滞納繰越分	3,366,653	1,024,437	0	2,342,216	30.42	508,466
	合計	477,941,153	473,504,587	1,210,500	5,647,066	98.81	508,466
井原市	現年分	355,062,300	354,114,700	174,400	1,122,000	99.68	0
	滞納繰越分	3,423,700	1,607,900	0	1,815,800	46.96	333,500
	合計	358,486,000	355,722,600	174,400	2,937,800	99.18	333,500
総社市	現年分	536,834,300	537,555,650	2,645,200	1,923,850	99.64	0
	滞納繰越分	5,167,100	2,127,500	1,900	3,041,500	41.13	1,168,200
	合計	542,001,400	539,683,150	2,647,100	4,965,350	99.08	1,168,200
高梁市	現年分	302,566,500	302,805,600	1,100,100	861,000	99.71	0
	滞納繰越分	2,214,600	864,498	0	1,350,102	39.03	257,700
	合計	304,781,100	303,670,098	1,100,100	2,211,102	99.27	257,700
新見市	現年分	305,661,400	304,967,300	1,125,500	1,819,600	99.40	0
	滞納繰越分	3,477,834	1,375,534	0	2,102,300	39.55	0
	合計	309,139,234	306,342,834	1,125,500	3,921,900	98.73	0
備前市	現年分	363,736,400	363,808,900	1,592,200	1,519,700	99.58	0
	滞納繰越分	4,110,800	2,066,150	0	2,044,650	50.26	129,000
	合計	367,847,200	365,875,050	1,592,200	3,564,350	99.03	129,000
瀬戸内市	現年分	313,223,100	312,487,862	584,700	1,319,938	99.57	0
	滞納繰越分	2,344,918	933,318	0	1,411,600	39.80	140,400
	合計	315,568,018	313,421,180	584,700	2,731,538	99.13	140,400
赤磐市	現年分	384,920,900	385,191,100	1,452,000	1,181,800	99.69	0
	滞納繰越分	3,057,300	1,243,200	0	1,814,100	40.66	286,300
	合計	387,978,200	386,434,300	1,452,000	2,995,900	99.22	286,300
真庭市	現年分	383,777,300	383,259,300	316,500	834,500	99.78	0
	滞納繰越分	2,140,216	1,194,049	16,013	962,180	55.04	114,900
	合計	385,917,516	384,453,349	332,513	1,796,680	99.53	114,900
美作市	現年分	228,001,700	227,388,694	463,700	1,076,706	99.52	0
	滞納繰越分	2,500,700	641,600	0	1,859,100	25.65	477,400
	合計	230,502,400	228,030,294	463,700	2,935,806	98.72	477,400
浅口市	現年分	352,439,200	351,100,000	242,600	1,581,800	99.55	0
	滞納繰越分	3,406,300	899,600	0	2,506,700	26.40	1,165,200
	合計	355,845,500	351,999,600	242,600	4,088,500	98.85	1,165,200

市町村名		調定額 A	収納額 B	還付未済額 C	収入未済額 A-(B-C)	収納率 (B-C)/A	不納欠損額
和 気 町	現 年 分	142,703,000	142,603,500	230,900	330,400	99.76	0
	滞納繰越分	601,700	290,600	0	311,100	48.29	163,500
	合 計	143,304,700	142,894,100	230,900	641,500	99.55	163,500
早 島 町	現 年 分	114,312,400	113,745,500	172,000	738,900	99.35	0
	滞納繰越分	1,562,900	1,107,300	0	455,600	70.84	0
	合 計	115,875,300	114,852,800	172,000	1,194,500	98.96	0
里 庄 町	現 年 分	98,789,000	98,648,100	93,000	233,900	99.76	0
	滞納繰越分	295,400	55,500	0	239,900	18.78	5,200
	合 計	99,084,400	98,703,600	93,000	473,800	99.52	5,200
矢 掛 町	現 年 分	138,190,700	137,589,920	19,600	620,380	99.55	0
	滞納繰越分	834,650	159,100	0	675,550	19.06	202,400
	合 計	139,025,350	137,749,020	19,600	1,295,930	99.06	202,400
新 庄 村	現 年 分	6,332,100	6,332,100	0	0	100.00	0
	滞納繰越分	44,000	22,000	0	22,000	50.00	0
	合 計	6,376,100	6,354,100	0	22,000	99.65	0
鏡 野 町	現 年 分	87,326,100	87,070,300	45,600	301,400	99.65	0
	滞納繰越分	489,800	98,600	0	391,200	20.13	180,100
	合 計	87,815,900	87,168,900	45,600	692,600	99.21	180,100
勝 央 町	現 年 分	74,906,200	74,833,400	5,800	78,600	99.89	0
	滞納繰越分	540,700	127,800	0	412,900	23.63	0
	合 計	75,446,900	74,961,200	5,800	491,500	99.34	0
奈 義 町	現 年 分	44,185,200	43,951,333	0	233,867	99.47	0
	滞納繰越分	166,400	166,400	0	0	100.00	0
	合 計	44,351,600	44,117,733	0	233,867	99.47	0
西 粟 倉 村	現 年 分	11,318,400	11,318,400	0	0	100.00	0
	滞納繰越分	0	0	0			
	合 計	11,318,400	11,318,400	0	0	100.00	0
久 米 南 町	現 年 分	43,937,900	43,952,100	66,000	51,800	99.88	0
	滞納繰越分	200	200	0	0	100.00	0
	合 計	43,938,100	43,952,300	66,000	51,800	99.88	0
美 咲 町	現 年 分	124,592,700	123,950,500	196,500	838,700	99.32	0
	滞納繰越分	1,815,962	686,911	0	1,129,051	37.82	62,400
	合 計	126,408,662	124,637,411	196,500	1,967,751	98.44	62,400
吉 備 中 央 町	現 年 分	76,415,100	76,800,600	516,400	130,900	99.82	0
	滞納繰越分	815,100	149,700	0	665,400	18.36	0
	合 計	77,230,200	76,950,300	516,400	796,300	98.96	0
合 計	現 年 分	16,426,548,700	16,365,008,348	25,557,632	87,097,984	99.46	0
	滞納繰越分	167,517,743	63,089,241	105,713	104,534,215	37.59	28,587,651
	合 計	16,594,066,443	16,428,097,589	25,663,345	191,632,199	98.84	28,587,651

(2) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計歳出決算状況

区 分	27年度 A	26年度 B	増、減(△) A-B
予算現額	263,001,568,000円	257,838,243,000円	5,163,325,000円
支出済額	262,968,244,054円	257,733,355,519円	5,234,888,535円
執行率	99.99%	99.96%	0.03%
翌年度繰越額	継続費逓次繰越	0円	0円
	繰越明許費	0円	0円
	事故繰越し	0円	0円
	計	0円	0円
	予算現額に対する比率	0.00%	0.00%
不用額	33,323,946円	104,887,481円	△71,563,535円

予算現額 2,630 億 156 万 8,000 円に対し、支出済額は 2,629 億 6,824 万 4,054 円で、前年度に比べ 52 億 3,488 万 8,535 円の増加となっている。

予算現額に対する執行率は 99.99%となっている。

また、不用額は 3,332 万 3,946 円で、前年度に比べ 7,156 万 3,535 円の減少となっている。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款	予算現額 A	支出済額 B	執行率 $\frac{B}{A}$	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
	円	円	%	円	円
総務費	611,945,000	611,564,748	99.94	0	380,252
保険給付費	247,511,184,000	247,495,586,468	99.99	0	15,597,532
県財政安定化基金 拠出金	87,873,000	87,872,578	100.00	0	422
特別高額医療費 共同事業拠出金	69,104,000	69,102,981	100.00	0	1,019
保健事業費	205,656,000	190,553,000	92.66	0	15,103,000
基金積立金	5,971,510,000	5,969,771,291	99.97	0	1,738,709
諸支出金	8,543,796,000	8,543,792,988	100.00	0	3,012
うち被保険者還付金	27,414,000	27,412,850	100.00	0	1,150
うち国庫負担金等償還金	8,515,481,000	8,515,479,438	100.00	0	1,562
予備費	500,000	0	0.00	0	500,000
計	263,001,568,000	262,968,244,054	99.99	0	33,323,946

支出総額は2,629億6,824万4,054円で、この主なものは保険給付費、翌年度における清算のための基金積立金、前年度清算のための償還金である。

予算現額2,630億156万8,000円に対する執行率は99.99%である。

不用額の主なものは、保険給付費の負担金補助及び交付金、保健事業費の負担金補助及び交付金、基金積立金の積立金などである。

保健事業については、平成27年度に策定したデータヘルス計画を利用して、健康状態や健康課題を客観的な指標を用いて示すことで取り組むべき課題を明確にし、目標値の設定を含めた事業内容の企画を行い、市町村と協力し被保険者の健康維持及び増進を図られたい。

療養諸費の状況は次表のとおりである。

療 養 諸 費 の 状 況

年度	療養諸費額 A	前年度比	年間平均 被保険者数 B	療養諸費 件数 C	一人当たり の療養諸費 $\frac{A}{B}$	一人当たりの 年間受診件数 $\frac{C}{B}$
	円	%	人	件	円	件
26	227,015,133,113	101.07	265,432	7,644,288	855,267	28.80
27	235,395,167,387	103.69	268,464	7,803,547	876,822	29.07

(注)「療養諸費額」は審査支払手数料を控除した額。

高額療養諸費の状況は次表のとおりである。

高 額 療 養 諸 費 の 状 況

年度	高額療養諸費額 A	前年度比	年間平均 被保険者数 B	一人当たり の高額療養諸費 $\frac{A}{B}$
	円	%	人	円
26	9,849,184,829	103.40	265,432	37,106
27	10,702,304,814	108.66	268,464	39,865

保健事業費の状況は次表のとおりである。

保健事業による健康診査の受診状況

年度	対象者数 A	受診者数 B	受診率 $\frac{B}{A}$	受診率の増減
	人	人	%	%
26	256,242	25,365	9.90	△ 0.13
27	255,834	33,768	13.20	3.30

(注1)「対象者数」は4月1日現在の被保険者数から受診対象外者を引いた数。

(注2)「受診者数」は個別健診、集団健診の合計。

(注3)「対象者数」は生活習慣病通院者等を含めた数。

【参考】各市町村健診受診者数の状況

市町村名	被保険者数 (4月1日被保険者数)	対象者数	集団健診			個別健診			受診者数 合計	受診率
			課税	非課税	小計	課税	非課税	小計		
	人	人	人	人	人	人	人	人	%	
1 岡山市	80,582	79,516	3	0	3	9,880	326	10,206	10,209	12.84%
2 倉敷市	55,654	54,435	968	261	1,229	3,179	1,777	4,956	6,185	11.36%
3 津山市	15,618	14,111	114	57	171	1,579	953	2,532	2,703	19.16%
4 玉野市	10,308	10,308	15	0	15	895	131	1,026	1,041	10.10%
5 笠岡市	9,227	9,227	394	208	602	182	96	278	880	9.54%
6 井原市	8,107	8,017	479	233	712	467	340	807	1,519	18.95%
7 総社市	8,548	7,809	105	0	105	190	0	190	295	3.78%
8 高梁市	7,507	7,831	175	93	268	42	14	56	324	4.14%
9 新見市	7,414	6,816	678	322	1,000	185	88	273	1,273	18.68%
10 備前市	6,733	6,578	9	6	15	1,037	405	1,442	1,457	22.15%
11 瀬戸内市	5,873	5,551	138	48	186	119	34	153	339	6.11%
12 赤磐市	6,383	6,303	0	0	0	135	48	183	183	2.90%
13 真庭市	10,024	9,281	0	0	0	1,815	724	2,539	2,539	27.36%
14 美作市	6,590	6,590	644	531	1,175	0	0	0	1,175	17.83%
15 浅口市	6,026	6,026	88	14	102	42	13	55	157	2.61%
16 和気町	2,832	1,101	0	0	0	150	73	223	223	20.25%
17 早島町	1,510	1,476	151	45	196	27	11	38	234	15.85%
18 里庄町	1,556	1,403	276	73	349	0	0	0	349	24.88%
19 矢掛町	2,944	2,678	153	41	194	0	0	0	194	7.24%
20 新庄村	250	246	22	8	30	1	3	4	34	13.82%
21 鏡野町	2,725	2,694	290	185	475	132	142	274	749	27.80%
22 勝央町	1,806	1,216	231	76	307	0	0	0	307	25.25%
23 奈義町	1,120	1,120	179	81	260	0	0	0	260	23.21%
24 西粟倉村	350	315	71	38	109	33	14	47	156	49.52%
25 久米南町	1,256	1,237	92	58	150	0	0	0	150	12.13%
26 美咲町	3,392	2,367	460	229	689	0	0	0	689	29.11%
27 吉備中央町	2,808	1,582	34	28	62	43	39	82	144	9.10%
合計	267,143	255,834	5,769	2,635	8,404	20,133	5,231	25,364	33,768	13.20%

4 財産に関する調書

平成27年度における財産の取得及び処分の異動状況は、次のとおりである。

(1) 公有財産

本年度末における公有財産はなく、本年度中の異動はない。

(2) 物品

本年度末における取得金額100万円以上の物品は3点で、本年度中の異動はない。

(3) 債権

本年度末における債権はなく、本年度中の異動はない。

(4) 基金

本年度末における基金は2基金45億7,075万9,744円で、前年度末より8億2,848万6,170円増加している。これは、岡山県後期高齢者医療広域連合財政調整基金が13万4,862円、岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療制度臨時特例基金が2億3,959万3,220円減少したが、岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療給付費準備基金が10億6,821万4,252円増加したためである。

基金名	前年度末 現在高	決算年度 中増減	決算年度末 現在高
岡山県後期高齢者医療広域連合 財政調整基金	25,883,762	△134,862	25,748,900
岡山県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療制度臨時特例基金	239,593,220	△239,593,220	0
岡山県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療給付費準備基金	3,476,796,592	1,068,214,252	4,545,010,844
「前年度末現在高」とは平成27年3月31日現在の数値。 「決算年度末現在高」とは平成28年3月31日現在の数値。 「財政状況公表に関する条例」に基づく財政状況の数値。			

5 むすび

平成27年度の決算審査の概要は以上のとおりである。

本年度の決算規模は一般会計、特別会計を合わせた総額で、歳入2,630億8,159万2,689円、歳出2,630億3,055万4,052円となり、前年度に比べ歳入は51億9,171万2,837円、歳出は52億3,731万5,829円それぞれ増加している。これは、特別会計における保険給付費の伸びによるものがほとんどである。

これを決算収支でみると、形式収支（歳入歳出差引額）は、一般会計で110万2,515円の黒字、特別会計で4,993万6,122円の黒字となっており、実質収支も同額の黒字決算となっている。また、単年度収支においては、一般会計で46万2,151円の赤字、特別会計で4,514万841円の赤字となっている。

歳入について、予算現額に対する歳入決算額の割合は、一般会計で99.46%、特別会計で100.01%となっている。また、調定額に対する割合は一般会計で100.00%、特別会計で100.00%となっているが、特別会計において、返納金の収入未済額が232万9,640円生じている。さらに、市町村における保険料の収納率は、現年分と滞納繰越分を合わせて98.84%となっており、1億9,163万2,199円の収入未済額が生じている。保険料の収納率が前年度に比べ0.02ポイント上昇していることは、市町村の収納努力の結果である。財政の健全化と被保険者間の公平性を保つためにも、滞納者に対する給付充当の活用等、引き続き市町村と連携を図りながら収納対策に取り組み、なお一層努力されるよう要望する。

歳出については、前年度に比べ一般会計で242万7,294円の増加、特別会計で52億3,488万8,535円の増加となっている。一般会計については、大部分が職員派遣負担金の増加によるものである。特別会計については、歳出総額のうち94.12%が保険給付費であり、前年度に比べ92億6,898万5,009円増加している。

高齢者人口の増加により、加齢に付随して医療給付費が年々増えていくことは、公費負担のみならず被保険者の負担増にも繋がっていく。医療費の増高が課題となる中で、医療費の適正化に取り組む必要性が高まってきている。このため医療費通知の送付、ジェネリック医薬品カードの配布など、従前から取り組んでいる事業を引き続き実施していくとともに、医療費に関しての被保険者への意識づけとしての働きかけを持続し、啓発を進めるよう取り組むべきである。

また、自身の健康状態を早期に発見し、生活習慣の見直し又は早期治療によって重篤にならないためにも、若い世代からの健診が望ましいが、高齢者においても健康診査事業を市町村と緊密に協力連携して、健診の効果的な取組みに努めてもらいたい。

さらに給付の根拠となる医療機関等からのレセプトに対しては点検を一層厳格に行い、不正請求や請求ミス、第三者求償対象の発見を通じて、適正な医療給付事務を遂行しなければならない。

医療費の増加は、保険料の増加に直接的に繋がるものである。本人や家族において健康であり負担が少ない生活を維持していく一方、後期高齢者医療制度にとって適正な医療給付が医療制度の安定に資するものであることから、レセプト情報や健診等情報の分析を活用し、指導や情報提供を進めていただきたい。

今後とも、制度を運営していく上で社会情勢を的確に把握した予算編成や計画的な資金

収支に留意し、確実かつ効率的な運用に努め、被保険者が安心して医療を受けることができるよう制度・財政運営に取り組んでいただきたい。